



令和 5 年 7 月 31 日

国土交通大学校

## 地域防災に活かす地理空間情報研修の研修員を募集します！【集合研修】

～ 浸水想定区域、避難所などの周知は十分ですか ～

この研修では、防災業務を担当する国・地方公共団体等の職員を対象に、防災及び災害対応に地理空間情報を活用する知識と技術を学びます。

具体的には、防災計画・災害対応に地理空間情報を活用している事例、ドローンで撮影したデータや衛星画像データ等の活用方法を学ぶほか、GISの実習では避難所等の配置計画、介護施設や公共施設等の洪水や土砂災害による被災想定等、防災に役立つ技術を修得できます。また、課題研究では、自らの地域において地理空間情報を活用して防災計画・災害対応を討議し成果を発表することで、実践力、応用力を養います。

### ■研修内容

- ① 地理空間情報・GISの基礎知識、防災計画や災害対応に地理空間情報を活用している事例などを学習します。
- ② GISの基本的な操作を実習により修得します（QGISを利用）。
- ③ 課題研修では、講義、実習等で学んだことを活用しながら、防災及び被災情報の見える化・分析等を行い、情報の提供方法、防災・災害対応を討議し発表することで、実践力、応用力を養います。

### ■対象者（定員 15 名）

国土交通省、他府省、都道府県、政令指定都市、特別区、市町村、独立行政法人等の職員で防災及び災害対応に関連する業務を担当する者（役職、経験年数、職種は問わない）

### ■研修期間・場所・経費

期間：令和5年11月6日(月)～10日(金) 5日間

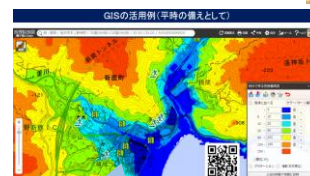
場所：国土交通大学校 小平本校

〒187-8520 東京都小平市喜平 2-2-1

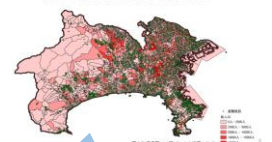
### 【研修成果】

GISで災害リスク情報を活用し、防災計画や災害対応について討議し、実践力、応用力を養う

指定緊急輸送路、人口密度、浸水想定区域を重ね合わせ避難計画を検討



神奈川県における避難所の整備状況と課題



自然災害伝承碑、避難場所の立地と地形の特性を把握し事前防災を検討

避難所の立地と人口密度を重ね合わせ地域の課題を抽出

本研修につきましては、国土交通大学校のホームページ (<http://www.col.mlit.go.jp/>) から【研修紹介】の【令和5年度募集状況一覧（小平）】にて研修計画などをご覧ください。

### ■令和4年度研修参加者の声（概要）

- 事前防災や災害対応に応用できる地理空間情報の活用手法や多くの事例について学ぶことができた。
- 災害時に活用できるGISの使い方を知ることができた。
- 地理空間情報を活用・提供する上で注意すべき点や参考にすべき事項を学ぶことができた。

問い合わせ先：

国土交通大学校 測量部 環境・防災情報研修官

電話：042-321-0957

FAX：042-321-8057

MAIL: col-soku-kikaku@gxb.mlit.go.jp